

**(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事**

**掲載コンテンツ**：リレーコラム

**掲載時期** 平成 26 年 10 月

**テーマ** — 地域の輪・人の輪を大切に —

**寄稿者** 竹谷ふれあいまちづくり協議会

わが町竹谷地区は阪神出屋敷駅を中心に東西南北に工場地帯、商店街、住宅街と約 2,500 世帯が密集する下町風情の残る地域です。地域は 12 の自治会で構成され、また典型的な少子高齢化が進んでいます。

平成 22 年度より県民交流広場事業を開始し、“竹谷ふれあいまちづくり協議会”と称しスタートしました。当初、備品は机と椅子だけの殺風景だった会館が、外装、内装、諸備品とすべてが整備され見違えるような温かさを感じる集いの広場が出来上がりました。何分にも、すべてが無からのスタートです。どのようにスタッフを集め、広場活動を展開していくかが最初の課題でした。人と出会えれば何か元気のヒントが得られると思ひ、町会の方、民生児童委員、協力委員に声掛けし協力して頂くことでスタッフの結成に至りました。まず、地域の輪・人の輪を大切に考え、高齢者世帯、一人暮らしの方の引きこもり対策としてスタッフで声掛け活動を始めました。また、一人でも多くの方に参加、協力を求めることで、楽しいふれあい喫茶“茶輪サロン竹谷”のオープンにも至りました。メニューは、お茶、コーヒー、昆布茶、スタッフ手作りのお菓子、ぜんざい、大根炊き、昔懐かしい水団など季節に応じたものを作り、皆さんに喜んでもらい、楽しいひと時を過ごして頂いています。

活動を重ねるに従い、事業内容も少しずつ拡大していきました。ふれあい広場では、映写会、落語、マジックショー、ギターの弾き語り、脳いきいき講座、お巡りさんの出前講話、カラオケ、ビンゴゲーム、簡単な手芸などを開催しています。現在では、毎回 60 歳から 85 歳の方まで 40 人から 60 人程の参加を頂き、活動が地域に定着しつつあると感じています。

また、昨年より、新しい事業として子供たちの広場を始めました。夏休みには学校の宿題、工作としてソーパデコバージュ作り、映写会でも多くの子供たちの参加があり、昼食には備品として購入する事が出来た念願だった大きな炊飯器でカレーを作り、子供たちの喜ぶ姿にスタッフも満足し大盛況でした。次回は、クリスマスに何か楽しい企画を計画しています。

大きな行事としては、18 回続いている竹谷盆踊りへの参画です。毎年 8 月最終日曜・月曜の 2 日間阪神出屋敷駅前広場で盛大に行われ、竹谷ふれあいまちづくり協議会は熱中対策の為の広場を設置しています。

他にも、会館では、民謡教室、預筋体操、詩吟サークル、キッズダンス、パソコン教室、囲碁将棋、絵手紙教室を開設したり、地域の児童の見守り、地域の防犯見守り活動にも貢献したりしています。

今年度で県民交流広場事業の助成期間が終了となります。終了後は、今日まで築いてきた基礎を大切に、地域の輪・人の輪を大切に考えながら、活動を継続していきたいと思ひます。これも、地域の方の協力と努力があつてこそ出来る事です。

大変うれしいことに最近では若い世代のスタッフが増えつつあります。今後の課題は多々有りますが、次世代に事業の継続を行いながら、より一層楽しい広場になるよう初心を忘れずスタッフ一同で今後も頑張りたいと思ひます。

**【子ども広場】 <夏休み子ども工作（ソーブデコバージュ）>**



**<夏休み子ども映画会>**



**【竹谷盆踊り】 <熱中症対策広場>**



**<竹谷小学校の鼓童>**

